

弁護士費用、孤独死対応、外国人向け…

# ミニ保険 多彩ニーズ注目

手頃な保険料で日常生活のトラブルに備える少額短期保険（ミニ保険）が多彩になっている。交通事故などで弁護士に相談、依頼した際の費用を補償する保険が人気だ。貸し出した部屋で起きた孤独死により損失が発生した家主への補償や、短期滞在の外国人向け医療・生命保険など、時代のニーズに対応した商品も注目されている。

## 毎月300件申し込み

騒音などで近隣ともめたり、残業代未払いなどで職場と争いになったり法的トラブルが発生した場合に弁護士に解決を依頼することがある。プリベント少額短期保険（仙台市青葉区）の弁護士保険「Mikata（ミカタ）」は、弁護士への相談や依頼にかかる費用を補償、軽減する。

保険料は月額2980円で、法律相談料として年間10万円まで、裁判などにかかる弁護士費用は1事件300万円まで保険金が支払われる。同社はトラブルの例として、子供のいたずらによる

物損事故や欠陥住宅、離婚問題、リストラなどを列挙。弁護士を紹介する付帯サービスもある。

同社によると、2013年5月の販売開始から毎月250～300件の申し込みがある。支払われた保険金の約3割が交通事故関連で、2割強がパワーハラスメントなど職場トラブル関連という。担当者は「日常生活で予期せぬトラブルが起こったときに弁護士に頼みやすいようにしたい」と話す。

## 参入ハードル低く

ミニ保険は保険業法改正で06年に創設された。通常の保険会社は免許制で最低10億円の資本金が必要だが、ミニ保険を扱うのは登録制で最低資本金も1000万円と参入のハードルが低く、市場が拡大している。

高齢化や単身世帯の増加で、孤独死が問題となる中、アイアル少額短期保険（東京）は、11年から「無縁社会のお守り」を販売。賃貸住宅を所有する家主向けに、貸し出した部屋で孤独

## 少額短期保険

少額短期保険	<b>プリベント</b> 弁護士保険 <b>「Mikata(ミカタ)」</b> 近隣トラブルや職場問題などの法的な問題が発生した場合の弁護士費用を補償 保険料は月2980円
	<b>アイアル</b> 家主向け保険 <b>「無縁社会のお守り」</b> 賃貸住宅の家主向けに孤独死や自殺などによる清掃費用など補償 保険料は1戸室月300円
	<b>ビバビータ</b> 短期滞在の訪日外国人向け保険 <b>「VIVAMED EX-16」</b> 滞在中の病気やけがによる医療費用や救急費用を補償 保険料は18～34歳で2500円

死や自殺などが起こった場合に遺品整理や清掃にかかる費用などの損失を補償する。16年3月末時点で、契約戸室数は約1万7000。15年度の収入保険料は前年度に比べ3割を超える伸びという。

保険料は1戸室当たり月300円。清掃など部屋を元通りにする原状回復費用として最大100万円、自殺などにより借り手がなく空室になった場合の家賃損失について最大200万円の保険金を支払う。

加入者は「過去に死亡事案を経験したため加入した」「孤独死は年齢に関係なく多くなっている」と話しているという。

ビバビータメディカルライフ（神奈川県大和市）は、短期滞在や日本在住の外国人のための医療・生命保険のサービスを提供する。留学生や技能実習生向けもあるが、近年急増している短期滞在の訪日外国人向けの「VIVAMED EX-16」が加入者を伸ばしている。

観光旅行や出張で日本に短期

アイアル少額短期保険で、顧客（手前）から相談を受けるスタッフ（イメージ）



滞在（16日以内）する外国人が対象で、18～34歳の場合、保険料2500円で病気やけがによる医療費用を最大80万円、危篤や死亡などで家族を海外から呼び寄せるときの救急費用を最大100万円補償する。入国する前に手続きすることが必要。

野口重雄社長は「多くの訪日外国人を受け入れるためには、日本で観光を楽しむ人へのセーフティネットの整備が課題だ。需要は高まりつつある」と話す。

## 健康志向 訪日客対応も

# 「大豆ミート」利用じわり

大豆を原料に使って食感や形を肉に似せた加工食品「大豆ミート」の利用がじわりと広がっている。健康志向の人に人気があり、2020年の東京五輪・パラリンピックを控えて、ベジタリアン（菜食主義者）に対応した食材としても注目される。海外展開を視野に生産を本格化させる企業も出ている。

「肉だと思った。見た目もそっくり」。肉や魚介類、卵といった動物性食材を使わない料理の店「T's レストラン」（東京・自由が丘）。初めて訪れた20代の男性は、大豆ミートの唐

揚げを酸味のあるソースであえた料理を食べて、驚きの声を上げた。

メニューには春巻きやハンバーグなど肉料理の名前も多く並ぶが、使っているのはいずれも大豆ミートだ。30代の女性客も「大豆の臭みがなくて食べやすい」と満足そうだった。

オーナーの下川左都さんは「単に動物性食材を使わないだけでなく、味も追求している。肉が好きな人も含め、さまざまな方に食べて喜んでいただきたい」と話す。

大豆ミートにはブロックやミ

マイセンファインフードが手掛ける、大豆と玄米を原料にした「ベジフィレ」（左）と「ベジミンチ」



ンチなどさまざまな形状があり、乾燥や冷凍した状態で流通しているほか、給菜にも使われている。

ベジタリアン向け食品を販売する「かるな」(名古屋市)では、大豆ミートは主力商品の一つ。10種類以上を扱い、売り上げ全体の約3割を占める。「食材に使いたい」といった飲食店からの問い合わせも増えているという。

本格生産に乗り出したのはマイセンファインフード（福井県鯖江市）だ。大豆と玄米を原料にした「ベジフィレ」と「ベジミンチ」の2種類を展開。玄米が入ることでもうま味が出て、大豆の臭いも抑えられたという。これまでは外部委託で生産していたが昨年、約5億8000万円かけて初の自社工場を完成させた。大豆ミートで月1000万円の売り上げを見込んでいる。

牧野仙以知社長(58)は「国

内外で健康な食を求める声は高まっている。海外での販路拡大を視野に入りたい」と意気込む。中東やアジアへの輸出を狙い、イスラム教の戒律に従った「ハラール」認証の取得も目指している。

東京五輪・パラリンピックでは、海外からの観光客が増え、ベジタリアンも多く来日することが予想される。日本ベジタリアン協会（大阪市）によると、対応できる飲食店は増えてきているという。

協会の垣本充代表は「大豆ミートは良質なタンパク質を含み、いろいろな料理に活用できる。日本で食べられれば、ベジタリアンの来日客にとっても喜ばしいのではないかと普及を期待する。」

## 楽天、中小保険など営業向け

# 携帯通話一括録音サービス

楽天は、携帯電話で営業を行う保険業界など向けに社員の通話を一括で録音して管理できる「モバイル録音サービス」の本格提供を始める。携帯電話大手3社の端末やPHSに対応。100人規模の事業所で初期費用が18万円と比較的安価に始められるのが特徴だ。今年5月に施行される改正保険業法に基づく金融庁の指針で、営業時のトラブル防止のために通話内容を保

管することが義務付けられており、楽天は、システム導入費用を抑えたい中小の保険会社のニーズを取り込む考えだ。

楽天グループの楽天コミュニケーションズが近く始めるモバイル録音サービスは、利用者に「050」から始まるIP電話番号を付与した上で、同番号からの通話内容を音声ファイルで録音保管し、パソコンやスマートフォンで録音内容を検索、管理

できる。

初期費用は5万円だが別途、月額3万円と1番号ごとに1000円が必要となる。

楽天によれば、通話内容を録音、管理するシステムは少なくとも数千万円かかるため、中小の保険会社では導入が進んでいないという。楽天は、保険会社など通話の保管が必要なさまざまな業種に導入を働きかける方針だ。

## 16年度業績予想 25.9%増収増益

■1万社対象意識調査

民間調査会社の帝国データバンクが14日発表した約1万社が対象の「2016年度の業績見通しに関する企業の意識調査」によると、全体の25.9%の企業が「増収増益」を見込んでいることが分かった。

「前年度並み」が22.7%、「減収減益」は20.7%だった。増収増益と答えた企業を従業員数別にみると、5人以下が21.3%で、51～100人が25.9%

%、1000人超は35.1%。従業員数が多い企業ほど増収増益を見込んでいる。

業績を上振れさせる要因としては、「個人消費の回復」と答えた企業が38.4%と最も多く、次いで「公共事業の増加」（27.2%）、「原油、素材価格の動向」（22.4%）、「所得の増加」（21.1%）、「為替動向」（18.4%）、「消費税増税前の駆け込み需要」（15.9%）と続いた。

一方、業績を下振れさせる事象として、「個人消費の一段の低迷」が40.7%と最も多かった。